



環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年3月1日～2024年2月29日)



本社・広島工場



創立50周年記念で植樹したヤマボウシに白い花が咲きました。
花言葉は、「友情」です。



デリカウイング株式会社

作成日 2024年4月25日
改定日

目次

項目	ページ
代表者あいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要・事業案内	5～6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7～8
全社の環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	10
各工場の活動内容	11～26
環境経営計画の取組みと結果とその評価、次年度の計画	27～31
環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	32～33
代表者による全体の評価と見直し・指示	34

代表者あいさつ



当社はコンビニエンスストアに並ぶ弁当、おむすび、惣菜、調理パン、デザートなどを製造、提供する事業を展開しております。

2023年5月以降、人流は回復しましたが、売上は前年と比べ回復しておりません。

2024年4月から自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限される働き方改革関連法が施行され、深刻なドライバー不足も重なり輸送能力は14%減少する見込みです。

原材料価格の高騰、原油価格の上昇による物流費、包装資材の値上がりや、エネルギーコストの高騰の他、電気、ガス料金は2021年度に比べ2024年度は電気料金の見直しでさらなる増加が見込まれております。

このような状況下で環境への配慮も一層の広がりを見せ、企業経営においてもこれまでのESG（環境・社会・ガバナンス）に対する取り組みから、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成への取り組みが重要視されております。

当社は環境に対する課題解決への取り組みを真摯に実行していくことがステークホルダーの皆様からの信頼を得て、社会の継続的な発展と企業の持続可能な成長につながると考えております。

このようなことから企業としての責任を果たしていくためにもエコアクション21に積極的に取り組んでまいります。

代表取締役社長
河野 充志

環境経営方針

デリカウイング株式会社は経営理念である『HAPPY TOGETHER』（セブン-イレブンのお店様やお客様・仕入先や地域の方々までの幸せを実現する）を念頭に置き、すべての従業員が地球規模の環境保全に貢献する活動を展開、推進します。

地域とともに
HAPPY TOGETHER

環境経営方針

1. 環境負荷の低減

変化への対応と基本の徹底を基軸としA B C D運動を実施し、省エネルギー、原材料ロスの削減、食品廃棄物の削減を推進し、環境負荷の低減を続けます。

- A：「当たり前」のことを、
- B：「ビックリ」するほど、
- C：「ちゃんと」するのが、
- D：「デリカウイング」の仕事です！

2. 循環型社会の形成

食品廃棄物及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 環境への配慮

環境問題に対する意識の向上を図り、環境に配慮した機械設備や備品等の購入を推進します。

4. 法令順守

環境関連法規制等を順守して環境保全活動に努めます。

5. 地域との共存

環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会との良好なコミュニケーションを図ります。

「地産地消(笑)」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取り組みです。

- ①地域で馴染みのあるメニューの開発
- ②地域で消費の高い原材料の取り組み
- ③地域で生産されている原材料メーカーとの取り組み



6. 社外公表・周知

環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開します。

制定日 2020年 3月 1日
デリカウイング株式会社 代表取締役社長 河野 充志

組織の概要・事業案内

(1) 事業者名及び代表者氏名

事業者名 デリカウイング株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 河野 充志

創業 昭和46年11月（1971年）

資本金 1億円

(2) 所在地

本社・広島工場	広島県廿日市市宮内工業団地2-5
岩国工場	山口県岩国市田原266-3
デザート工場	広島県廿日市市宮内工業団地1-2
東広島工場	広島県東広島市吉川工業団地11-9

(3) 認証・登録の事業所、事業内容

対象事業所 本社・広島工場、岩国工場、デザート工場、東広島工場

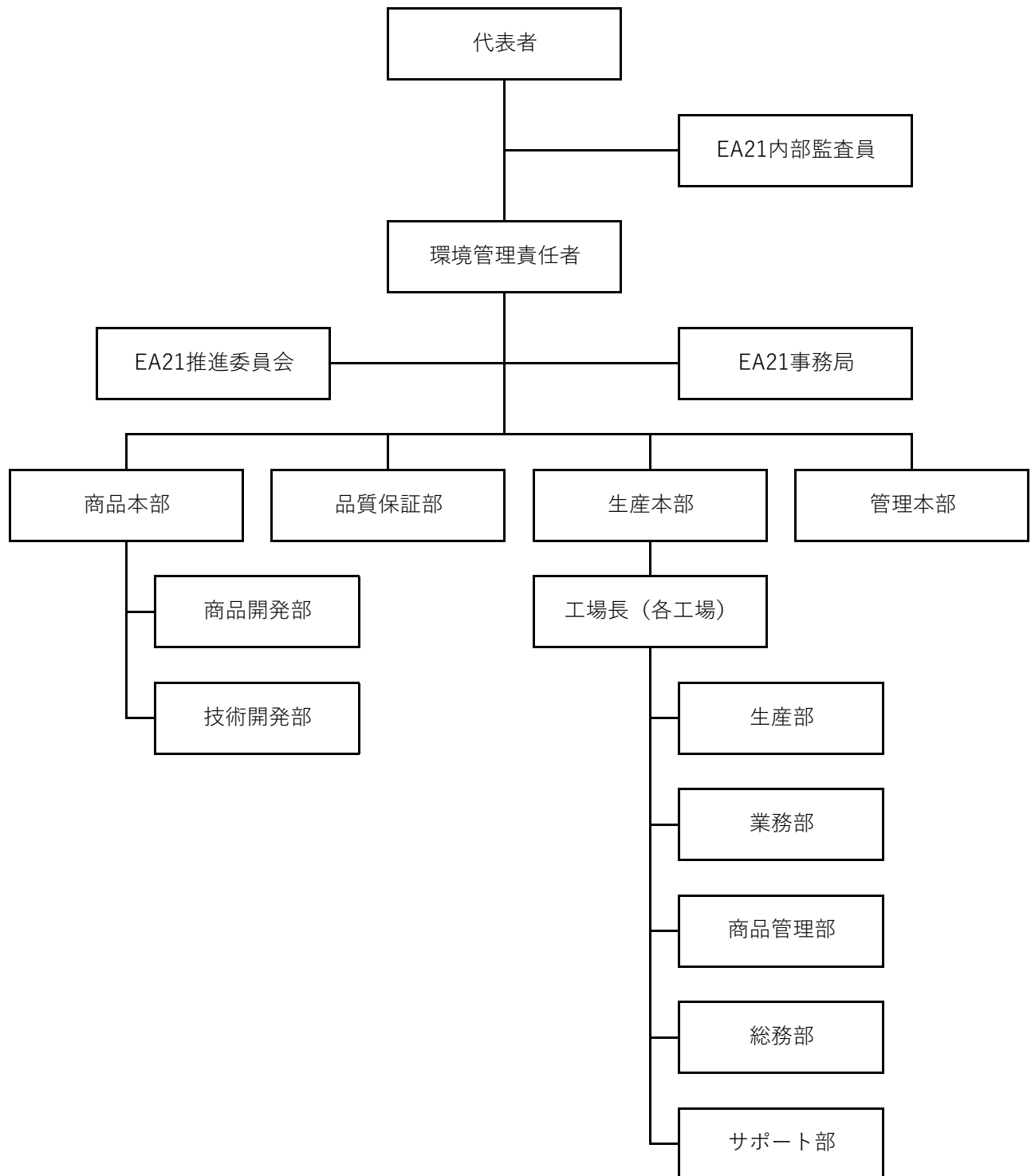
事業内容 コンビニ向け弁当、おむすび、調理パン、お好み焼き、
惣菜、軽食、デザート（洋菓子・和菓子）の商品開発及び製造

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役副会長 管理本部長 河村 淳
事務局	管理本部 岡坂 和政
連絡先	電話 (0829)39-4411
	FAX (0829)39-4410
	E-mail honsya@dwing.co.jp
	ホームページ http://dwing.co.jp/

(5) 事業年度 2023年3月1日 ~ 2024年2月28日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
E A 21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
E A 21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・環境経営レポートの確認
各工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部（工場）における環境経営方針の周知 ・自部（工場）の社員、パートナーに対する教育訓練の実施 ・自部（工場）に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部（工場）に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部（工場）の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部（工場）の問題点の発見、是正、予防処置の実施
E A 21内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全社員・定時社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

全社の環境負荷の実績

項目	年度	単位	2019年度 基準年度	2023年度			2024年度 目標	2025年度 目標
				目標	実績	目標比削減率		
二酸化炭素総排出量（調整後）		t-CO ₂	18,274	14,180	13,336	94.0	13,464	13,595
食品廃棄物								
発生量		t	2,026	1,825	1,468	80.4	1,482	1,498
排出抑制量		t	0	0	0		0	0
再生利用量		t	2,026	1,825	1,468	80.4	1,482	1,498
熱回収量		t	0	0	0		0	0
減少量		t	0	0	0		0	0
再生利用以外の量		t	0	0	0		0	0
廃棄物処理量		t	0	0	0		0	0
食品再生利用等実施率		%	100	100	100		100	100
同上基準実施率		%	100	100	100		100	100
廃棄物排出量								
廃プラスチック		t	922	806	711	88	717	725
排水量		千m ³	371	383	350	91	353	357

電気のCO₂排出係数について

項目	年度	単位	2019年度 基準年度	2023年度		2024年度 目標	2025年度 目標
				目標	実績		
中国電力 調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh	0.636	0.545	0.552	同左	同左

ガス燃料関係のCO₂排出係数について

項目	単位発熱量		C排出係数		CO ₂ 排出係数	
	2023年度目標まで	2023年度実績以降	2023年度目標まで	2023年度実績以降	2023年度目標まで	2023年度実績以降
都市ガス	45.0 GJ/千m ³		0.0136 t-C/GJ		2.24 t-CO ₂ /千m ³	
LPGガス	50.80 GJ/kg	50.08 GJ/kg	0.0161 t-C/GJ		3.00 t-CO ₂ /kg	2.96 t-CO ₂ /kg
灯油	36.70 GJ/ℓ	36.49 GJ/ℓ	0.0185 t-C/GJ		2.49 t-CO ₂ /ℓ	2.48 t-CO ₂ /ℓ

※二酸化炭素はCO₂と化学式で記載しています。

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。 標記はCNと致します。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

環境経営目標及びその実績

項目	工場名	排出量・使用量						原単位 (百万バック当り)					
		2019年度		2023年度		2024年度	2025年度	2019年度		2023年度		2024年度	2025年度
		基準年度	目標	実績	目標比率	目標	目標	基準年度	目標	実績	目標比率	目標	目標
	単位	百万バック/年			%	百万バック/年							
生産数量	全社	117.57	117.35	110.13	94	112.32	114.57						
	広島工場	46.75	42.61	41.71	98	42.54	43.39						
	岩国工場	23.17	19.89	18.98	95	19.36	19.75						
	デザート工場	34.92	34.07	29.21	86	29.79	30.39						
	東広島工場	12.73	20.79	20.23	97	20.63	21.04						
	単位	トン-CO ₂ /年			%	トン-CO ₂ /年		トン-CO ₂ /百万バック		%	トン-CO ₂ /百万バック		
CO ₂ 排出量の削減 (調整後)	全社	18,274	14,180	13,336	94	13,464	13,595	155.43	120.84	121.09	100	119.87	118.66
	広島工場	6,415	4,952	4,557	92	4,601	4,646	137.22	116.22	109.25	94	108.16	107.08
	岩国工場	2,906	1,983	1,934	98	1,953	1,972	125.42	99.70	101.90	102	100.88	99.87
	デザート工場	3,012	2,223	2,087	94	2,107	2,128	86.25	65.25	71.45	110	70.74	70.03
	東広島工場	5,942	5,022	4,757	95	4,803	4,849	466.77	241.56	235.15	97	232.80	230.47
	単位	kWh/年			%	kWh/年		kWh/百万バック		%	kWh/百万バック		
電気使用量の削減	全社	17,602	19,549	18,424	94	18,603	18,784	149.72	166.59	167.29	100	165.63	163.95
	広島工場	5,394	5,953	5,562	93	5,616	5,671	115.38	139.70	133.35	95	132.02	130.70
	岩国工場	2,815	2,704	2,629	97	2,655	2,681	121.49	135.96	138.51	102	137.12	135.75
	デザート工場	3,295	3,224	3,164	98	3,195	3,226	94.36	94.64	108.32	114	107.24	106.17
	東広島工場	6,098	7,670	7,069	92	7,137	7,206	479.03	368.94	349.43	95	345.94	342.48
	単位	km ³ /年			%	km ³ /年		km ³ /百万バック		%	km ³ /百万バック		
都市ガス使用量の削減	3工場合計	1,776	1,714	1,612	94	1,627	1,643	18.81	17.59	17.69	101	17.50	17.33
	広島工場	449	397	380	96	384	387	9.60	9.32	9.11	98	9.02	8.93
	デザート工場	408	424	369	87	372	376	17.61	12.44	12.63	102	12.50	12.38
	東広島工場	919	894	863	97	871	880	26.32	42.99	42.66	99	42.23	41.81
	単位	kg/年			%	kg/年		kg/百万バック		%	kg/百万バック		
LPガス使用量の削減	2工場合計	1,023	868	790	91	798	805	14.63	13.88	13.02	94	12.89	12.75
	広島工場	652	562	491	87	496	500	13.95	13.18	11.77	89	11.65	11.53
	岩国工場	371	306	299	98	302	305	16.01	15.38	15.75	102	15.59	15.43
	単位	トン/年			%	トン/年		トン/百万バック		%	トン/百万バック		
食品廃棄物 (産廃) の削減	全社	2,026	1,825	1,468	80	1,482	1,498	17.23	15.55	13.33	86	13.19	13.07
	広島工場	454	287	233	81	235	238	9.71	6.73	5.59	83	5.53	5.47
	岩国工場	596	440	385	88	389	393	25.72	22.14	20.28	92	20.08	19.88
	デザート工場	348	343	273	80	276	279	9.97	10.08	9.35	93	9.26	9.17
	東広島工場	628	756	577	76	582	588	49.33	36.38	28.52	78	28.23	27.95
廃プラスチック (産廃) の削減	全社	922	806	711	88	717	725	7.84	6.87	6.46	94	6.38	6.33
	広島工場	329	280	241	86	243	246	7.04	6.56	5.78	88	5.72	5.66
	岩国工場	193	149	138	93	139	141	8.33	7.51	7.27	97	7.20	7.13
	デザート工場	198	154	123	80	124	125	5.67	4.53	4.21	93	4.17	4.13
	東広島工場	202	222	209	94	211	213	15.87	10.68	10.33	97	10.23	10.13
	単位	km ³ /年			%	km ³ /年		km ³ /百万バック		%	km ³ /百万バック		
排水の削減	全社	371	383	350	91	353	357	3.16	3.26	3.18	98	3.14	3.12
	広島工場	109	106	103	97	104	105	2.33	2.48	2.47	100	2.45	2.43
	岩国工場	112	97	93	96	94	95	4.83	4.87	4.90	101	4.85	4.80
	デザート工場	35	31	32	103	32	33	1.00	0.92	1.10	120	1.09	1.08
	東広島工場	115	148	122	82	123	124	9.03	7.14	6.03	84	5.97	5.91

環境経営目標は原単位目標に基づいている。

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

広島工場の活動



敷地面積	10,378.44㎡	延床面積	7,391.06㎡
製造品目	弁当・おにぎり	生産能力	31万食／日
主要設備	炊飯ライン 60釜／時 2基		
従業員数	699名（2024年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2023年度			2024年度 目標	2025年度 目標	
			目標	実績	目標比削減率(%)			
生産数量	百万パック	46.75	42.61	41.71	98	42.54	43.39	
電気	使用量	千kWh	5,394	5,953	5,562	93	5,616	5,671
	CN電気使用量		-	-	1,530	-	1,685	1,701
	CO ₂ 排出量		t-CO ₂	3,431	3,244	2,226	69	2,170
都市ガス	使用量	千m ³	449	397	380	96	384	387
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,008	891	853	96	862	868
LPガス	使用量	千kg	652	562	491	87	496	500
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,956	1,686	1,453	86	1,468	1,480
排水量	千m ³	109	106	103	97	104	105	
食品廃棄物	発生量	トン	454	287	233	81	235	238
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	329	280	241	86	243	246

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

電気による二酸化炭素削減			7 2024年目標達成率 100%	13 環境目標 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	生産終了後の生産機器電源OFF 並びに終了後の照明部分消灯	○	コンプレッサー更新時に必要空気量を見直して電気使用量の削減ができた。合わせてコンプレッサーの型式をスクリー式から多段スクロール式に変更。機器選定時の使用見直しを継続する。	
	コンプレッサー更新仕様見直し 37kW(スクリー式) → 22kW(多段スクロール)	○		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・LPガス」			7 2024年目標達成率 100%	13 環境目標 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	朝礼、掲示物による意識向上	○	都市ガスは契約購入量の関係で大幅な削減はできなかった。ガス燃料の使用先である蒸気ボイラーで発生した蒸気漏れの点検を実施した。次年度も継続していく。	
	蒸気等の配管点検・修理	△		
排水量の削減			6 2024年目標達成率 100%	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	朝礼、掲示物による意識向上	△	節水の呼び掛けを朝礼で実施したが、削減は達成できなかった。次年度も節水活動の活性化、水漏れ修理の早期対応を進める。	
	節水の呼び掛けと水漏れ修理	△		
プラスチック類(産廃)の削減			12 2024年目標達成率 100%	14 環境目標 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	製造時の衛生シート使用箇所の 見直し	○	衛生シートの使用箇所を見直し、廃プラスチック排出量を削減できた。次年度は分別の教育をして削減を進める。	
	分別一覧を作成し教育と 分別廃棄の徹底	○		
食品廃棄物(産廃)の削減			12 2024年目標達成率 100%	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	製造不良発生時の注意喚起と 再発防止の徹底	○	プロジェクトで再発防止対策を進め、食品廃棄物は削減できた。次年度も取組を継続し製造不良の再発防止を図る。	
	食品残渣発生量の定期的な周知、 注意喚起の継続	○		

1. 工場周辺ボランティア清掃活動実施(1回/2ヶ月)

※6回実施して、延べ約20kg回収

※法面の状況を確認しながら草刈り作業も年数回実施

回収したゴミは
分別して廃棄！



2. 電子掲示板を使った情報共有の継続(厚生棟廊下)



商品の情報や製造過程で発生する
原材料の切れ端やくずなどの食品
残渣情報や、納品先からの商品の
返品情報など、従業員が行き交う
廊下で情報発信を継続!

現状をみんなが理解し全員参加で
取り組みます!

3. 工場で使用する水、ガスなど使用量をリアルタイムに見える化



従業員が休憩するラウンジ入口に、モニターで
工場生産設備の稼働状況や水、ガスの使用量を
リアルタイムで表示。

新たに電気の一日の使用量や料金も掲示!



広島工場 EA21事務局

4. 今年度も地元保育園さまとの交流会を開催しました（第4回目）

当社は地域貢献、地元へのボランティア活動を積極的に行っています。地元保育園さまは『食育』にも力を入れており、国際色豊かな給食を提供されています。

地元保育園の職員さん達に広島工場、岩国工場の商品開発部の料理人による調理技術指導を今年も行いました。



技術指導



フレンチの出汁をテーマに無駄のないSDGsのソース作り
(SDGs=持続可能な開発目標)



- ぶりのみぞれ煮(ぶりカマ)
- フュメ・ド・ポワソン(魚のだし汁)
- 白身魚のア・ラ・クレーム



交流会参加のみなさま



地元保育園さまは、廿日市市で初の社会福祉法人として設立されており、国際プログラムでのグローバル教育を学べる日本初の認可保育園です。地元コミュニティ放送局さまと地元保育園さま、当社のコラボ放送で情報発信を続けています。

広島工場 E A 2 1 事務局

岩国工場の活動



敷地面積	7,505.19㎡	延床面積	3,023.93㎡
製造品目	サンドイッチ・惣菜・軽食		
生産能力	12万食／日		
従業員数	407名（2024年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2023年度			2024年度 目標	2025年度 目標	
			目標	実績	目標比削減率 (%)			
生産数量	百万パック	23.17	19.89	18.98	95	19.36	19.75	
電気	使用量	千kWh	2,815	2,704	2,629	97	2,655	2,681
	CN電気使用量		-	-	731	-	797	804
	CO ₂ 排出量		t-CO ₂	1,790	1,065	1,048	98	1,026
LPガス	使用量	千kg	371	306	299	98	302	305
	CO ₂ 排出量		t-CO ₂	1,113	918	885	96	894
排水量	千㎡	112	97	93	96	94	95	
食品廃棄物	発生量	トン	596	440	385	88	389	393
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	193	149	138	93	139	141

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

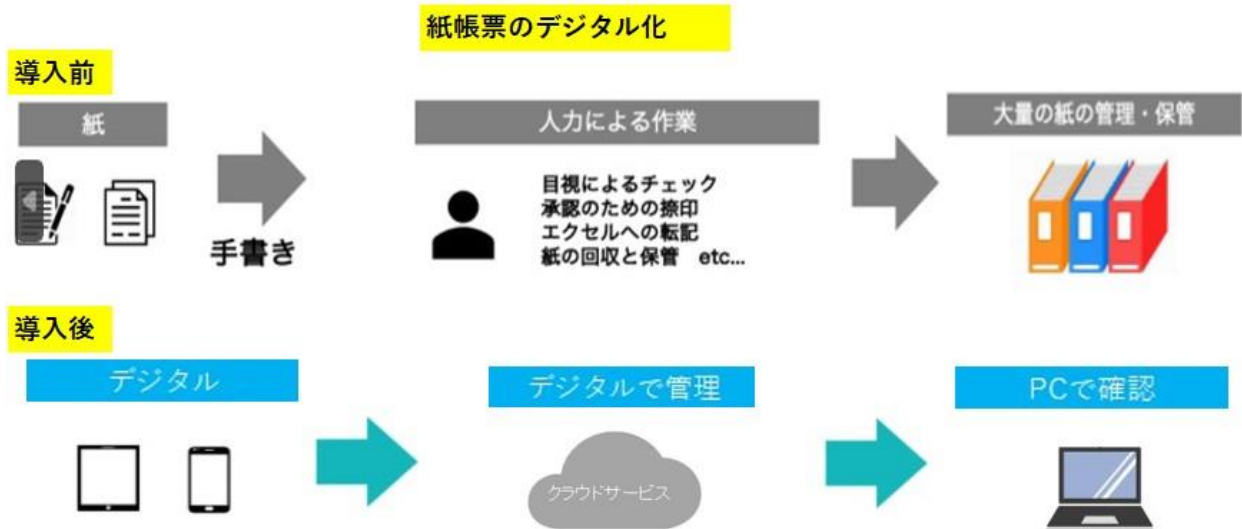
※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

岩国工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 2024年-2025年 エネルギー削減 目標達成	13 環境負荷低減 目標達成
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不要照明の消灯	○	作業終了後の消灯活動は定着、電気使用量の削減ができた。次年度は製造終了後の生産設備を停止する活動をする。生産開始時についてもルール化していく。	
	不要機器の電源OFF徹底	△		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」			7 2024年-2025年 エネルギー削減 目標達成	13 環境負荷低減 目標達成
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不使用機器の電源OFF	○	蒸気の使用が多い容器洗浄機を、稼働しない時は洗浄機の停止に取組、ガス燃料の削減ができた。	
	蒸気漏れ修理	○		
排水量の削減			6 2024年-2025年 水資源削減 目標達成	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	節水掲示物の見直し	○	節水活動の重要性を外国人労働者に伝えるため掲示物の多言語化を進め、排水量の削減ができた。	
	水漏れ箇所の随時修繕	○		
プラスチック類（産廃）の削減			12 2024年-2025年 プラスチック削減 目標達成	14 2024年-2025年 環境負荷低減 目標達成
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	ビニールシート・袋削減	○	サンドイッチ包材が紙包材に変更となり、廃プラスチック類から事業系一般廃棄物（紙ごみ）に変更となり、廃プラスチック類排出量は減少した。分別回収を継続する。	
	ラベル・包材・品名シール貼付けミス削減	○		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 2024年-2025年 プラスチック削減 目標達成	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	類似具材・類似原材料の使用間違い防止	○	食品廃棄物は製品を盛り付ける時に具材を間違えると廃棄となる。盛付する具材をチェックするシステムを導入して、食品廃棄物量は減少。次年度は具材製造する工程に水平展開する。	
	返品対策	○		

岩国工場の活動

1. デジタル帳票を導入してコピー用紙の削減



2020年5月より
岩国工場はデジタル帳票システムを導入
始終業点検表や終業後清掃記録表
などをデジタル化に移行させたことで
A4コピー用紙で年間1万1千枚を削減。

カメラやスケジュール機能などを
活用させることで、より分かり易い
デジタル帳表を今後も増やして
環境面にも配慮していきたい。

2. 地産地消（消）に取り組む、地域の食材を使用した商品を推奨しています



山口県産アスパラ使用



岩国レンコン使用



広島県産ほうれん草使用

岩国工場 E A 2 1 事務局

デザート工場の活動



敷地面積	8,647.49㎡	延床面積	6,976.74㎡
製造品目	洋菓子・和菓子	生産能力	20万食／日
主要設備	シューライン 2,000個／時		
従業員数	494（2024年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2023年度			2024年度 目標	2025年度 目標	
			目標	実績	目標比削減率 (%)			
生産数量	百万パック	34.92	34.07	29.21	86	29.79	30.39	
電気	使用量	千kWh	3,295	3,224	3,164	98	3,195	3,226
	CN電気使用量		-	-	883	-	959	968
	CO ₂ 排出量		t-CO ₂	2,096	1,270	1,259	99	1,234
都市ガス	使用量	千㎡	408	424	369	87	372	376
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	916	951	828	87	835	844
排水量	千㎡	35	31	32	103	32	33	
食品廃棄物	発生量	トン	348	343	273	80	276	279
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	198	154	123	80	124	125

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

デザート工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 2024年-2025年 エネルギー	13 気候変動に 関係する資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不要照明の消灯	○	作業終了時に部分消灯が習慣になった。次年度は生産終了後のオープン等の生産機器の稼働停止を定着させる。	
	生産工程の待機時間短縮	△		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」			7 2024年-2025年 エネルギー	13 気候変動に 関係する資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	蒸気・冷温水配管の保温強化	○	加熱調理する生産設備のジャケット保温が破損がある箇所の保温強化を実施。蒸気の漏れ箇所を修理。次年度も継続する。	
排水量の削減			6 2024年-2025年 水資源	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	洗浄時の流しっぱなしをしない	△	加熱調理室・トッピング室の混合栓を節水タイプに交換したが、水の使用量が増加して排水量が増加した。次年度は節水活動を進める	
プラスチック類（産廃）の削減			12 2024年-2025年 循環型社会	14 2024年-2025年 資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	分別の徹底	○	廃棄物を分別強化して一部を有価物となった。次年度も分別強化して廃棄物から有価物にしていく。	
	再資源化先の開拓	○		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 2024年-2025年 循環型社会	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	加工ロスの削減	○	技術の必要作業は、作業者を定着化させて加工ミスがなくしてロスの削減を進めた。次年度は生産ミスで発生するロスの削減に努める。	

デザート工場の活動

1. 環境にやさしい洗剤に変更

生産工程で使用する容器・治具を洗浄機で洗浄する。

工場内にある洗剤を環境にやさしいものに変更すべく、洗剤メーカーに協力頂き洗浄効率等を配慮した上で洗剤の切り替えを実施しました。



上記、洗浄機は2021年10月に洗剤変更済。



上記、容器洗浄機は2023年5月より洗剤を変更。

2023年8月より、デザート工場内すべて洗剤を変更実施。

2. 洗剤容器のリサイクル

昨年からの継続で、容器の回収を継続。容器洗浄機で使用していた洗剤容器も回収リサイクル実施中。

回収して綺麗な物は再度充填して使用し、汚れが酷いものは破砕処理してリサイクル。



2023年度回収本数

オートクリーン	31個回収
クリアラージ	39個回収

デザート工場 EA21事務局

デザート工場の活動

3. プラスチックごみ削減の取組み

①作業工程で使用する養生シート等プラスチック使用量

年度	プラスチック 廃棄量	生産数量	製品1個当たりの プラスチック 廃棄物量
2021年度	183 トン	3,550 万パック	5.2 グラム
2022年度	153 トン	3,295 万パック	4.6 グラム
2023年度	123 トン	2,921 万パック	4.2 グラム

②2021年度からの継続取組み

- ・製造時に使用する養生シートのサイズ・長さ違い(100cm・50cm)を導入

③2023年度からの取組み

- ・作業の見直し、養生シートの使用方法の変更。(短冊シート等)

年度	通常サイズ 使用本数	長さ違い導入 使用本数	使用本数	廃プラスチック量
2020年度	888 本	—	888 本	7.9トン
2021年度	773 本	53 本	826 本 ※1	7.4トン
2022年度	460 本	105 本	565本	5.1トン
2023年度	348 本	150 本	498本	4.5トン

※1：長さ違いを導入しなかった場合、通常サイズで879本となる

※2：シート一本のプラスチック重量は約9kg

- ・従来は、養生シートでバット全体を覆って、ラベルを張り付けていた。
今年度の取組みで、バットの取手にラベル貼り付けるための短冊シートを導入して、養生シートの使用量を削減することができ、廃プラスチック量の削減ができた。



デザート工場 EA21事務局

デザート工場の活動

④食品廃棄物の削減の取組み

(1)生産工程で発生する、原材料の残り・端材等

年度	動植物性残渣 廃棄量	生産数量	製品1個当たりの 動植物性残渣 廃棄物量
2022年度	339 トン	3,295 万パック	10.3 グラム
2023年度	273 トン	2,921 万パック	9.3 グラム

- ・製造に必要な原材料を管理強化をして、原材料の余りが発生しない様に管理した。
- ・余った原材料を毎月集計して、在庫量の調整を実施した。

(2)連続式焼成機で生産する為、生産開始時や生産終了時に、規格外のシュー皮が発生する。

- ・シュー皮回収量（回収したシュー皮は飼料原料として販売）

年度	シュー皮回収量 廃棄量	シュー商品生産数量	製品1個当たりの 動植物性残渣 廃棄物量
2021年度	99 トン	890 万パック	11.1 グラム
2022年度	62 トン	926 万パック	6.7 グラム
2023年度	35 トン	763 万パック	4.6 グラム

- ・歩留の改善

(A)2台あるオーブンの特性を把握した上で、商品ごとに歩留の良い方で焼成

(B)特定技能実習生に業務を担ってもらい熟練度が増して歩留が改善

(C)日勤に熟練度の高い作業者が多いので、技術等が必要な商品に関しては

日勤で焼成するなどの焼成スケジュールの見直しを実施



東広島工場の活動



敷地面積 16,502.58㎡ 延床面積 7,229.02㎡

製造品目 お好み焼き・軽食・惣菜・チルド弁当・サラダ

生産能力 12万食／日

従業員数 469名（2024年2月末時点）



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2023年度			2024年度 目標	2025年度 目標	
			目標	実績	目標比削減率 (%)			
生産数量	百万パック	12.73	20.79	20.23	97	20.63	21.04	
電気	使用量	千kWh	6,098	7,670	7,069	92	7,137	7,206
	CN電気使用量		-	-	1,959	-	2,141	2,162
	CO ₂ 排出量		t-CO ₂	3,878	3,016	2,821	94	2,758
都市ガス	使用量	千m ³	919	894	863	97	871	880
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,062	2,006	1,937	97	1,955	1,975
排水量	千m ³	115	148	122	82	123	124	
食品廃棄物	発生量	トン	628	756	577	76	582	588
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	202	222	209	94	211	213

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

東広島工場の活動

電気による二酸化炭素削減				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	トンネルフリーザーの定期デフロスト実施。	○	トンネルフリーザーの氷結除去は毎日実施でき、冷却・冷凍温度不具合の発生はない。次年度は主要加熱調理設備のエネルギー消費量を機器に掲示して取組を活性化する。	
	加熱機器の始業余熱時間厳守、終了後の運転停止。	△		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	蒸気・冷温水配管の保温強化	△	保温の破損がある箇所は保温強化を実施。次年度は主要加熱調理設備のエネルギー消費量を機器に掲示して取組を活性化する。	
	加熱機器の始業余熱時間厳守、終了後の運転停止。	△		
排水量の削減				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	節水ノズルの設置	○	節水ノズル（5箇所）、節水コマ(38箇所)を導入。水漏れは生産部からも声が挙がり、節水活動に対する意識は強まる一年となった。次年度も継続する。	
	水道コマの交換	○		
プラスチック類（産廃）の削減				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	分別の徹底	○	廃棄物を分別強化して一部を再資源を進めている。次年度は、容器用衛生シートに残った原材料を削減する取り組みを進める。	
	再資源化先の開拓	○		
食品廃棄物（産廃）の削減				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	原材料発注量の精度アップ	△	原材料発注システムを導入して購買数量の精度が上がるよう取り組み中。加工ロスはプロジェクト活動で削減に繋がった。次年度も継続する。	
	加工ロスの削減	○		

東広島工場の活動

1. 「地域」への思いを大切に、工場周辺の清掃活動

会社の周囲の環境美化活動及び地域貢献活動として、2021年7月よりスタート。2023年度は清掃活動を7回実施し、回収したごみは約16kg/回（合計約115kg）で、全て分別して廃棄処分しました。



2. 動植物性残渣の排出ゼロ化のためのバイオマス処理施設

工場が発生する動植物性残渣をメタン発酵により処理し、残渣の工場外への排出をゼロにして、焼却処分の削減やCO₂削減に貢献します。

この取り組みは、広島県の「令和3年度 広島県廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助金」に公募・採択された事業で、現在も順調に処理を行っています。



【2023年3月～2024年2月末現在で累計】

動植物性残渣処理量	577 トン
発電量	159 MWh
CO ₂ 削減量	85 t-CO ₂

※中国電力 調整後排出係数0.536t-CO₂/千kWh

東広島工場 E A 2 1 事務局

東広島工場の活動

3. 食品残渣削減の取り組み

2023年度は製品1個当たりの食品残渣量を前年度比19.5%削減。

年度	食品残渣発生量	生産数量	製品1個当たりの食品残渣発生量
2022年度	749 トン	2,064 万パック	3.6 グラム
2023年度	577 トン	2,023 万パック	2.9 グラム

【改善事例】

サラダドレッシングを小袋に充填する機械についての取り組みを紹介します。玉葱が入ったドレッシングで、玉葱の粒が引っ掛かる事があり、安定した充填が出来ずにいました。そこで、玉葱のカットサイズの変更や充填方法を再検討する事で、充填が安定し、約4.8kg/日の食品残渣削減に繋がりました。



東広島工場 環境改善の取り組み

4. エアコンフィルター定期清掃



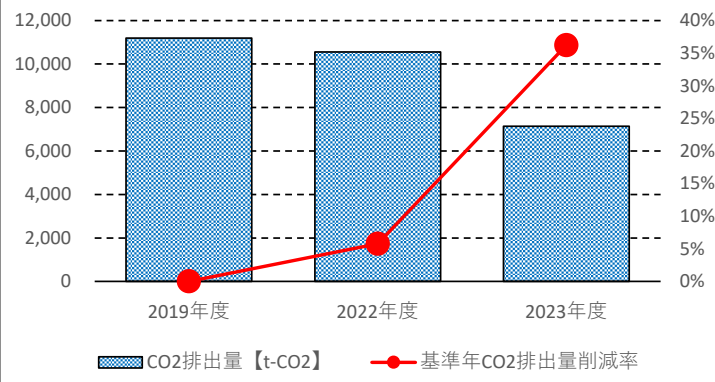
夏季のエアコン効率の改善を目的に、夏季前に主要箇所の一斉洗浄を実施。その後も自社にて定期的なフィルター清掃を実施し、可能な限りの効率運転を実施しました。また、空調の温度設定も冷暖共に確認をしながら、必要最低限の温度での運用をしています。



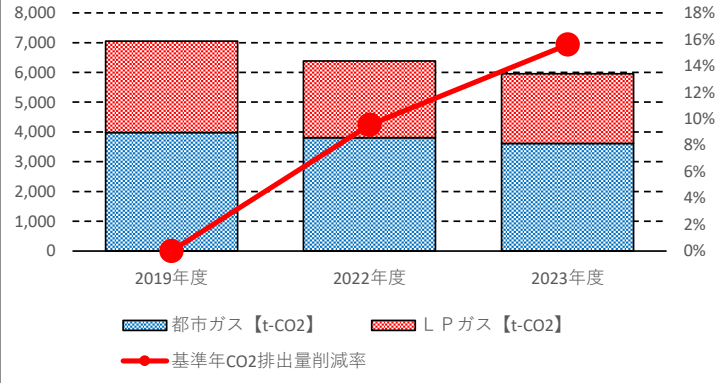


東広島工場 EA21事務局


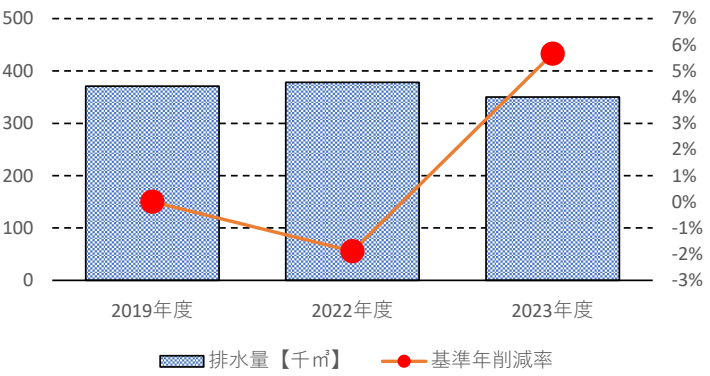


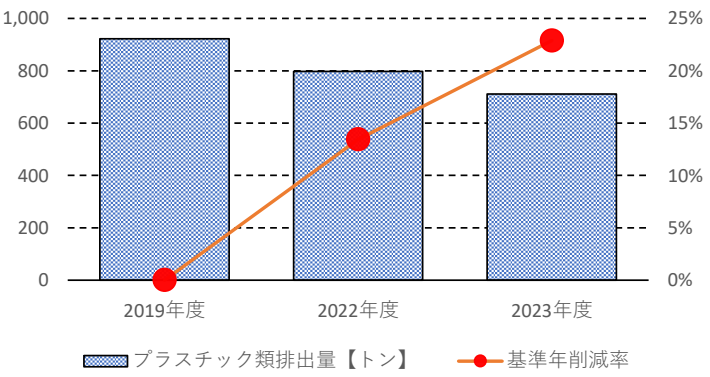
環境経営計画の取り組みと結果とその評価、次年度の計画

※基準年度：2019年度、実績：2022年度・2023年度

電気による二酸化炭素削減			
 			
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	生産終了後の生産機器電源OFF	○	電気原単位は目標未達、CN電気を購入して目標を達成できた。次年度も継続して活動に取り組む。
	生産終了後の部分消灯	○	
			
	2019年度	2022年度	2023年度
電気使用量【千kWh】	17,602	19,360	18,424
うちCN電気使用量【千kWh】	0	0	5,103
中国電力 調整後排出係数【t-CO ₂ /千kWh】	0.636	0.545	0.536
CO ₂ 排出量【t-CO ₂ 】	11,195	10,551	7,140
基準年CO ₂ 排出量削減率	—	6%	36%

ガス燃料による二酸化炭素削減				
※ガス燃料とは「都市ガス・L Pガス」				
 				
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	朝礼、掲示物による意識向上	○	生産数量の減少で、都市ガス原単位は目標未達、L Pガス原単位は達成。次年度も継続して活動に取り組む。	
	蒸気等の配管点検・修理	○		
				
	2019年度	2022年度	2023年度	
使用量	都市ガス使用量【千m ³ 】	1,776	1,698	1,612
	L Pガス使用量【トン】	1,023	859	790
CO ₂ 排出量【t-CO ₂ 】	都市ガス【t-CO ₂ 】	3,985	3,804	3,617
	L Pガス【t-CO ₂ 】	3,068	2,577	2,336
	合計【t-CO ₂ 】	7,053	6,381	5,953
基準年CO ₂ 排出量削減率	—	10%	16%	





※基準年度：2019年度、実績：2022年度・2023年度

排水量の削減															
															
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容												
取組	朝礼、掲示物による意識向上	△	排水原単位は改善できた。次年度も継続して活動に取り組む。												
	生産現場にて節水の呼び掛け	△													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水量【千㎡】</td> <td>371</td> <td>378</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>基準年削減率</td> <td>-</td> <td>-2%</td> <td>5.7%</td> </tr> </tbody> </table>			2019年度	2022年度	2023年度	排水量【千㎡】	371	378	350	基準年削減率	-	-2%	5.7%		
	2019年度	2022年度	2023年度												
排水量【千㎡】	371	378	350												
基準年削減率	-	-2%	5.7%												
プラスチック類（産廃）の削減															
 															
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容												
取組	作業ミスによる廃棄物の削減	○	プラスチック廃棄物排出量原単位は改善できた。次年度も継続して活動に取り組む。												
	朝礼、掲示物による意識向上	○													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラスチック類排出量【トン】</td> <td>922</td> <td>798</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td>基準年削減率</td> <td>-</td> <td>13%</td> <td>23%</td> </tr> </tbody> </table>			2019年度	2022年度	2023年度	プラスチック類排出量【トン】	922	798	711	基準年削減率	-	13%	23%		
	2019年度	2022年度	2023年度												
プラスチック類排出量【トン】	922	798	711												
基準年削減率	-	13%	23%												






※基準年度：2019年度、実績：2022年度・2023年度

食品廃棄物（産廃）の削減																											
<div style="display: flex; align-items: center;"> 12 <div style="font-size: 8px; margin-left: 5px;">つくる責任 つかう責任</div> </div>																											
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容																								
取組	作業ミスによる廃棄物の削減	○	ロス削減などの取組みで食品廃棄物排出量原単位は改善できた。次年度も継続して活動に取組む。																								
	朝礼、掲示物による意識向上	○																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品廃棄物排出量【トン】</td> <td style="text-align: center;">2,026</td> <td style="text-align: center;">1,808</td> <td style="text-align: center;">1,468</td> </tr> <tr> <td>排出量削減率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">11%</td> <td style="text-align: center;">28%</td> </tr> </tbody> </table>			2019年度	2022年度	2023年度	食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,808	1,468	排出量削減率	-	11%	28%	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <caption>食品廃棄物排出量と削減率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>食品廃棄物排出量【トン】</th> <th>排出量削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度</td> <td>2,026</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>2022年度</td> <td>1,808</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>2023年度</td> <td>1,468</td> <td>28%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	食品廃棄物排出量【トン】	排出量削減率	2019年度	2,026	0%	2022年度	1,808	11%	2023年度	1,468	28%
	2019年度	2022年度	2023年度																								
食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,808	1,468																								
排出量削減率	-	11%	28%																								
年度	食品廃棄物排出量【トン】	排出量削減率																									
2019年度	2,026	0%																									
2022年度	1,808	11%																									
2023年度	1,468	28%																									
洗剤等（化学物質）使用量の削減																											
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容																								
取組	適正使用量の厳守	○	次年度も継続して洗剤等の使用量を把握、適正使用を継続する。																								
	安全で安心な商品の提供	○																									

※基準年度：2019年度、実績：2022年度・2023年度

製品の環境への取組			12 つくる責任 つかう責任 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	消費期限延長	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	容器包材のプラスチック削減	○	
環境に配慮した物品の購入			12 つくる責任 つかう責任  15 陸の豊かさも 守ろう 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	省エネ性能の高い設備の導入	○	次年度も設備検討時に省エネ性能の判断ができる仕組み作りを継続して進める。
<p>当社は、広島県の「2050ネット・ゼロカーボン」の実現に向けた取組の一環として発行された、令和4年度第7回グリーンボンドを購入、環境プロジェクトに賛同を表明いたしました。</p> <div style="text-align: right;">  広島県 </div>			

※基準年度：2019年度、実績：2022年度・2023年度

環境に配慮した生産活動			12 つくる責任 つかう責任 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	ご指摘（お客様からのお申し出）の削減	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	良品製造推進	○	
<p>「地産地消」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みです。当社では具体的には次のようなことを実施しています。</p> <p>①地域で馴染みのあるメニューの開発 ②地域で消費の高い原材料の取組み ③地域で生産されている原材料メーカーとの取組み</p> <p>これらが実現し、地域のお客様、取引先原材料メーカー、そして私たちがHappyになること。これがデリカウイングの目指す「地産地笑」です。</p> <p>2023年度は35件提案して、35件商品化されました。</p>			
社会貢献活動			   
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	工場周辺の清掃活動	○	工場周辺の清掃活動を継続、次年度も活動を継続する。
<p>地元保育園の職員さん達と調理交流会を開催、SDGsの観点から、皮など物を捨てない料理を広島工場、岩国工場の商品開発部の料理人が調理技術指導を行いました。</p> <p>コロナ禍で中止していた、日頃ご協力いただいている従業員とご家族、お子様を招待しての「工場夏祭り」、夏祭りに合わせて開催している「子供参観日」を再開しました。</p>			

環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反・訴訟等の有無

関連する法規・確認事項

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬（契約書・許可証、保管状況等） 産業廃棄物の収集・運搬、処分（契約書・許可証、保管状況等） 看板の設置（設置状況、記載内容、連絡先明記等） マニフェスト伝票の記載漏れ、保管状況 処分場の現地確認 産業廃棄物管理票の交付等状況報告の作成・提出（6月30日まで） 多量排出事業者の処理計画等の報告の作成・提出（6月30日まで）
食品リサイクル法	定期報告書の作成、提出
騒音規制法	ブローア、圧縮機、送風機等の設置届出
振動規制法	ブローア、圧縮機、送風機等の設置届出
水質汚濁法	特定施設設置届出 排水水質濃度測定記録
下水道法	使用開始届出 除害施設設置届出
浄化槽法	設置・変更の届出 保守点検、清掃、記録の保管（3年間） 定期検査（指定検査機関の検査）
消防法（危険物）	消防設備点検表 各届出 避難訓練の実施、記録（年1回以上）
毒物及び劇物取締法	保管場所での施錠、安全データシート(SDS)の保管
フロン排出抑制法	点検、整備記録（有資格者による定期点検） 点検、整備記録（簡易点検） フロン引取、回収証明書 算定漏洩量の報告
省エネ法	エネルギー管理士・員の選任、届出 エネルギー管理標準の作成・保管 定期報告書の作成・提出（7月31日まで）
温暖化対策推進法	対策計画書の作成・提出 実績報告書の作成・提出（7月31日まで）

本社・各工場確認結果

適用される法規制	本社・広島工場	岩国工場	デザート工場	東広島工場
廃棄物処理法	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○
騒音規制法	○	○	○	○
振動規制法	○	○	○	○
水質汚濁法	○	○	○	○
下水道法	○	—	○	○
浄化槽法	—	○	—	—
消防法（危険物）	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法	○	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○	○
省エネ法	○	○	○	○
温暖化対策推進法	○	○	○	○

2023年度は法律違反・訴訟等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年4月10日

当社は環境問題に対する取り組みとして、省エネルギー活動、フードロス削減、廃棄物リサイクルなどを行ってまいりました。これらの活動をより具体的にかつ継続的に取り組むため、工場単位ごとにエコアクション21推進委員会や各種改善プロジェクトで計画・実行・評価・改善を繰り返しました。成果がでている項目もありますが、残念ながら生産数量が昨年比で6%減少しております。そのため、生産数量当りの原単位が悪化しております。

このような現状を把握した上で、次年度に対する目標数値を設定し、全社一丸となって共通認識のもと目標達成にむけて努力してまいり所存です。

本活動を通し、従業員一人一人が環境に対する問題意識を持ち、行動すること。企業としては継続的に成長のために責任を果たすこと。これらが社会の持続的な発展とステークホルダーの皆様の成長につながると考えております。

環境経営方針の変更はありません。



デリカウイング株式会社